



さわやかな秋空のもと開催された
市原保育園の運動会。
子ども達の笑顔が輝いていました。

あれは
どげなった？

検証

シリーズ No.2

過去の陳情請願を追跡取材！

町政に関する要望や意見がある時は、実情を述べて適切な措置をとるように議会に要望することができます。要望時に紹介議員がいない時は「陳情」、紹介議員がいる時は「請願」となります。南小国では町政に関する陳情・請願が過去10年間に13件採択されています。これらの案件がどうなったのか追跡し、町内3ヶ所（案件一覧表の①～③）の現地取材を行いました。

【過去10年間の陳情・請願採択案件】

採択年月日	陳情・請願名	陳情・請願者	現状報告	取材
H24.9.14	陳情書（南小国町消防団第1分団1部消防詰所の水路の改修）	竹ノ熊組長外3団体	平成24年11～12月に新規に建設する消防小屋の出入口に約8mの側溝と擁壁約2mの施工を行った。	
H25.6.12	町道中杉田鳥越線幅員拡幅及び杉田新井手水路改良についての陳情書	下杉田組長 杉田新井手水利組合	【道路拡幅】測量設計済⇒今後、地元説明、用地測量、用地交渉 【水路改修】測量設計済（道路側溝と兼用）	
H25.12.12	国道442号と町道黒川波居原線との分岐点改修に関する請願	黒川波居原線改修期成会 波居原自治会	【交差点改良】測量設計済⇒今後、警察協議、地元説明、用地測量、用地交渉	①
H27.3.10	陳情書（立岩地区内道路補修）	立岩自治会	【道路舗装補修】町道立岩宮地線・立岩線、一部実施済	
H28.6.15 （一部採択）	陳情書（平成28年熊本地震による二次災害の防止に関する件）	波居原自治会	【二次災害防止】防災・安全交付金（急傾斜地）事業、R2年度完了	
H29.9.14	陳情書（九州北部豪雨による河川改修）	志津自治会	【河川改修】満願寺川護岸整備 R3年度完了予定（一部筆界未定区間除く）	
H29.9.14	馬場川の河川改修についての陳情	馬場地区自治会	【河川掘削】県河川掘削事業 H30年度実施済み、継続要望中 【河川改修】県河川改修事業、継続要望中	
H30.3.12	町道（旧湯田・矢田原線）拡幅・復旧についての陳情	湯田地区自治会	【拡幅・復旧】測量設計済 ⇒今後、地元説明、用地測量、用地交渉	②
H30.9.13	陳情書（動馬喜集落内利用道路の町道認可及び道路整備）	動馬喜集落自治会	【道路整備】町道動馬喜線（ブロック積工、嵩上工）整備済	
R2.3.13	入湯税を原資とした観光地域づくり財源についての陳情	黒川温泉自治会外3団体	増税の可否、増税分の使途について関係課で検討中。施行時期について新型コロナウイルスの影響を注視している。	
R2.12.10 （一部採択）	陳情書（部落集会所の下水道料金検討のお願い及び矢津田井手（用水路）の整備についてのお願い）	矢津田下住民一同	【水路整備】未着手	
R2.12.10	小田川・長田川の河川堤防・改修に関する陳情	社会福祉法人昭寿会	【堤防嵩上】応急措置、大型土のう等設置済 【河川改修】現地測量（平面測量）済、今後具体的な手法検討	③
R2.12.10 （一部採択）	小田川の河川復旧と改修についての陳情	瀬の本自治会外2団体	【スリットダム建設】県砂防事業、測量設計中 【堤防構築】未着手、小田川関連災害復旧事業が全て完了後対応検討 【石橋架替】小田中橋、未着手 【流木処分】2 災補河第4611号（小田川③）、完了 【土砂流出防止策】①県治山事業、測量設計中、②未着手（小規模土砂流出） 【老人施設護岸整備】応急措置（大型土のう設置）完了 【水路改修】2 農災35号（山鳥川水路）、未発注	

①波居原 交差点



【波居原公民館前の交差点】

対応済：地形測量、概略設計、
ルート検討

対応中：警察協議

今後：地元説明、用地測量・交渉

②湯田・矢田原線



【通称「旧湯田矢田原線」】

対応済：測量設計

※陳情とは別に応急措置済み

今後：地元説明、用地測量・交渉

③小田川・長田川



倒れている緑のフェンスから
左が長田川、右が職員駐車場

※写真提供：悠清苑様
令和2年7月8日早朝



【地元業者による作業】



【軽自動車の車高程に
積まれた土のう】

対応済：応急措置として浸水被害が大きかった
場所には河川との境に大型土のう設置、
現地の平面測量、一部掘削

今後：河川改修の具体的な手法検討

結果

議会で採択された陳情請願案件は、担当課で現地視察等を行い、協議をした上で、町の数ある事業の中での優先順位を決め対応されていました。しかし、熊本地震や豪雨など大きい災害が続き、災害復旧作業が突発的に入ったために進捗が滞っている案件もありました。

今回の現地視察を経て、陳情・請願を提出された方に状況共有がされていない案件もありましたので、今後は陳情・請願者への定期的な現状報告や意見交換を実施していただくことを議会としても働きかけていきます。

令和3年7月 第3回臨時会

▼熊本市町村総合事務組合規約の一部変更

（原案可決）

▼令和3年度一般会計補正予算（第4号）

主な審議

○町民向け商品券発行事業補助金について

▼森永議員 一部を経済支援として飲食店や宿泊など観光用にできないか。

▽町長 今回は家計支援での配付のみとする。

▼佐藤議員 実施期間は。

▽まちづくり課長 開始は9月当初を目途に、利用期限は来年1月末を予定。

▼穴井千秋議員 町の使用料や税金に利用できるか。

▽町長 今回は使えない。将来的には考えていきたい。

▼下城議員 利用可能事業者の周知をお願いしたい。

▽まちづくり課長 商品券配付時に一覧表を同封する。

▼井野議員 通常のプレミアム商品券後期分の予定は。

▽まちづくり課長 本年度後期分の発行予定はない。

▼矢津田議員 移動販売車

の利用は。

▽まちづくり課長 利用は可能。一覧表にもわかるように掲載する。

○町有地斜面災害復旧工事について

▼佐藤議員 工事場所は。

▽総務課長 旅館大市館の裏。白川部落牧野組合管理の原野。

○予防接種委託料について

▼佐藤議員 委託内容は。

▽町民課長 小国公立病院委託分の休日加算分追加。

補正予算 主な事業

（万円）

一般会計（第4号）	原案可決
町有地斜面災害復旧工事	192
予防接種委託料	228
がまだす里モン支援事業補助金	150
町民向け商品券発行事業補助金	4160
観光促進事業補助金	1461
観光振興プレミアム付商品券発行事業補助金	640

●不動産売買契約の締結

▼農協跡地購入

契約金額 8591万円

契約の相手方

阿蘇農業協同組合

主な審議

▼穴井千秋議員 コインランドリーの移転は。

▽総務課長 乾燥機と精米機の移転については、農協の意向を再確認したい。



精米機のみ管理センター横に移設された

▼井上議員 用地の中の水路と里道の廃止の取り扱い

は。国有地ではないのか。

▽建設課長 平成17年に国から移譲を受けており、現在は町が管理している。

▽総務課長 今後、用途廃止の手続きをとる。

▼佐藤議員 解体に関する

▽総務課長 該当面積の把握ができていない。町に申請が上がってこないかわからない。

（原案可決）

令和3年9月 第3回定例会

●専決処分の報告

▼令和3年度一般会計補正予算（第5号）

主な審議

▼令和3年度特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）

（承認）

▼南小国町手数料条例の一部を改正する条例

主な審議

▼矢津田議員 マイナンバーカードの保有数は。町民への加入促進の方法は。

▽町民課長 9月5日現在



毎週火曜日は午後7時までマイナンバーカードの申請受付を実施

在、1256名が保有。そのうち年代別では、60歳代が最も割合が高く約20%。

ケーブルテレビ等で広報周知している。また、町民の方が集まる場所、幼児健診等に出張して周知している。

（承認）

▼令和3年度一般会計補正予算（第6号）

主な審議

○避難所防犯カメラ設置業務委託について

▼井野議員 既に学校には防犯カメラが設置されていると思うがその違いは。

▽総務課長 市原小体育館入口・元気プラザ入口の3か所に監視用として設置。

○小学校ICT支援業務委託料について

▼森永議員 オンライン授業など学校に行けないときの取り組みや対応は。

▽教育委員会事務局長 基準は設けていない。学校長の判断ではあるが、各学校共にタブレット等を使っている。

▼森永議員 学校により差があるので、対応は足並み

補正予算 主な事業

	(万円)
一般会計（第5号）	承認
特定地域生活排水処理特別会計繰出金	△ 80
令和3年成人者祝い金	44
一般会計（第6号）	原案可決
会計業務委託に係る事前事務委託	162
不動産購入費	200
財政調整基金積立金	4 億 2145
コミュニティ助成事業補助金	500
障害者福祉関連国庫・県費負担金返還金	1614
健診情報連携システム整備事業委託	205
阿蘇広域行政事務組合負担金	1277
特別会計繰出金（6会計）	△ 1223
新型コロナ飲食店営業時間短縮協力金	323
民間建築物吹付アスベスト除去等補助金	418
民間賃貸住宅確保プロジェクト補助金	800
避難所防犯カメラ設置業務委託	175
国民健康保険特別会計（第1号）	原案可決
準備基金積立金	7
後期高齢者医療特別会計（第1号）	原案可決
一般会計繰出金	55
介護保険特別会計（第2号）	原案可決
介護給付費負担金等返還金	373
水道事業特別会計（第2号）	原案可決
中原配水池流量計修繕	160
農業集落排水事業特別会計（第2号）	原案可決
基金積立金	181
特定地域生活排水処理事業特別会計（第2号）	原案可決
浄化槽本体修繕	27
公共下水道事業特別会計（第2号）	原案可決
基金積立金	495

をそろえていただきたい。
 ○新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業対応業務委託料について
 ▼佐藤議員 コールセンター延長の必要性は。希望者の接種状況は。未接種者への対応は。
 ▼町民課長 9月8日時点で1回目接種率86%、2回目接種率76.2%、9月10日できよりホールでの集団接種は終了。9月に4回、10月に4回、11月に2回、小国公立病院外来で対応。今後

のコールセンターの在り方は協議中。結果によっては後日精算させていただく。
 ▼森永議員 町内の接種率の公表は。
 ▼町民課長 今後ホームページで公表予定。
 ○保育対策総合新事業費補助金について
 ▼井野議員 どのような事業に対する補助金か。
 ▼福祉課長 コロナ対策に要する経費が該当。
 ○アスベスト調査分析事業補助金について

▼井上議員 農協への支払額から控除するのか。
 ▼建設課長 今回は歳出の



解体の進む農協施設

みの計上。交付決定通知が出され次第、12月補正予算に計上予定。
 ▼総務課長 補助金が決定したら、売買契約代金から控除するように契約上なっている。

▼令和3年度水道事業特別会計補正予算（第2号）

【主な審議】

○水道料金について

▼矢津田議員 水道料金お知らせの間違いがあったのではないか。チェック体制ができているのか。

▼建設課長 検針員の入力時の確認不足により、誤った金額をお知らせしていた。打ち出し時に確認すべきであった。異常数量時には担当に連絡するようになっていたが、徹底できていなかった。最終的に納付書を出す段階で増減の確認はできるので、そこでチェックはかかる体制にはなっている。使用数量の確認と金額の確認は、検針員に再度徹底させたい。

●令和2年度決算

▼一般会計歳入歳出決算書、特別会計歳入歳出決算

書（7会計）
 ▼健全化判断比率及び資金不足比率
 報告

●南小国町過疎地域持続的発展計画の策定
 原案可決

●町道路線の一部廃止
 ▼町道黒川下線

（経済建設常任委員会付託）
 （委員長報告）
 原案可決

●陳情

▼辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情
 配付のみ

▼沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書
 配付のみ

▼コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について
 採 択

▼所得税法第56条の廃止を求める陳情書
 配付のみ

令和2年度 決算認定

一般会計決算

歳入 63 億 2186 万円

科 目	金 額
地方交付税	19 億 9739 万円
寄付金*	9 億 9610 万円 (※この内、ふるさと納税が 9 億 9056 万円)
国庫支出金	9 億 3065 万円
繰越金	6 億 5340 万円
町税	4 億 2906 万円
繰入金	3 億 9579 万円
県支出金	3 億 422 万円
町債	1 億 7258 万円
分担金及び負担金	1 億 5215 万円
地方消費税交付金	9204 万円
地方譲与税	7676 万円
使用料及び手数料	6755 万円
諸収入	3368 万円
財産収入	1093 万円
環境性能割交付金	392 万円
地方特例交付金	291 万円
配当割交付金	88 万円
株式等譲渡所得割交付金	86 万円
法人事業税交付金	79 万円
利子割交付金	20 万円

歳出 56 億 2966 万円

歳出区分	金 額
総務費	23 億 6588 万円
民生費	6 億 8397 万円
衛生費	6 億 5208 万円
農林水産業費	4 億 2970 万円
土木費	3 億 1328 万円
教育費	2 億 9254 万円
公債費	2 億 8490 万円
商工費	2 億 2825 万円
災害復旧費	1 億 9044 万円
消防費	1 億 2785 万円
議会費	6072 万円
諸支出金	7 万円

令和2年度一般会計は、歳入総額 63 億 2186 万円から歳出総額 56 億 2966 万円を差し引くと 6 億 9220 万円となります。差引額の中に翌年度への繰越財源として 1 億 4677 万円が含まれているので、これを差し引いた 5 億 4543 万円が黒字となり、翌年度に繰り越されました。

特別会計決算

特別会計名	歳 入	歳 出	収 支 額
国民健康保険特別会計	6 億 4318 万円	6 億 3304 万円	1013 万円
後期高齢者医療特別会計	6306 万円	6251 万円	54 万円
介護保険特別会計	6 億 4229 万円	6 億 3225 万円	1004 万円
水道事業特別会計	1 億 7333 万円	1 億 5852 万円	1481 万円
農業集落排水事業特別会計	3193 万円	2831 万円	362 万円
特定地域生活排水処理事業特別会計	2188 万円	2009 万円	179 万円
公共下水道事業特別会計	1 億 5427 万円	1 億 4203 万円	1224 万円
合計	17 億 2993 万円	16 億 7675 万円	5318 万円

※表示単位未満四捨五入のため、合計や収支額が一致しない場合があります。

こんなことに使われました

令和2年度に実施された主な事業は、次のとおりです。

ふるさと納税事業
5億1979万円



ICT機器備品購入
1892万円



市原団地内駐車場整備
1688万円



ローカルベンチャー事業
3847万円



町道中湯田赤迫線改良
5130万円



水稻被害見舞金
5285万円



小中学校校内無線 LAN
2989万円



公共土木災害測量設計
6272万円



特別定額給付金
3億9670万円



超プレミアム商品券
4398万円



休業支援給付金
8657万円



子育て世帯応援給付金
527万円



新型コロナ対策
市場販売経費助成
1008万円



新型コロナ対策
畜産経営持続事業補助
941万円



新型コロナ対策
花卉生産持続事業補助
442万円



新型コロナ対策
水道基本料2ヶ月免除
244万円



監査委員による決算審査意見書の抜粋

代表監査委員 石橋正寿

議選監査委員 井野和哉

- ① 財政健全化審査について、将来負担比率は前年度より改善され、制度開始以来初めて比率がゼロとなった。しかし、実質公債費比率は前年度より上昇した。令和3年度においては、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨災害に対する様々な施策がとられ、財政調整基金の今後の推移も気になる。国の財政支援や、ふるさと納税も現状では先が見えない。今後も個々の要因を分析し、抑制に向けた適正な財政管理を行っていただきたい。
- ② 税と保険料・使用料及び負担金等の徴収については、昨年度に引き続き滞納額が無かった費目がある。これは、担当職員の日頃の努力は基より、担当課・局間の横の連携がうまく図られているものと評価する。悪質な滞納者については法的措置をとるなど、徴収業務の更なる強化をお願いするとともに、少額滞納者には滞納額が増える前に、口座振替制度などを積極的に推進してもらいたい。また、コ

ロナ禍による収入減や経営状況の悪化など、前年度以上の収納率低下が危惧される。今まで以上の担当課・局間の連携に期待する。

- ③ 歳出に多額の不用額が見受けられる。限られた財源の中、新型コロナウイルス感染症対策などに有効活用するため、実施困難となったものなどは年度途中の早めの減額補正など、適切な財政処理を望む。
- ④ 伝票監査において、消費税が二重計上されていたものがあつた。後日調整を行い、過払いにはならなかったが、今後は請求書不備の確認体制の強化を徹底し、事務処理ミスの防止に努めてもらいたい。
- ⑤ 平成28年熊本地震・平成29年7月豪雨災害事業の完了が見えていた矢先、令和2年7月豪雨災害により本町も甚大な被害を受けた。また、新型コロナウイルス感染症対策の様々な事業も新設され、職員の負担も増加している。今後も担当職員の業務負担に対する対策を講じ、一日も早い復旧・復興を願う。

令和3年 議会日誌

8月	2	阿蘇市町村議会議長会臨時総会
	17	県町村議会議長会第2回理事会(オンライン会議)
	25	県町村議会議長会正副議長研修会(オンライン研修)
	27	議員勉強会
9月	8	熊日金婚夫婦表彰式 (写真①)
	8	議会運営委員会
	15～16	第3回定例会
	15	経済建設常任委員会
	22	議会広報調査対策特別委員会
	24	小国公立病院議会
	28	秋の全国交通安全運動街頭指導
10月	29	社会福祉協議会第3回理事会
	1	小国郷ライナー出発セレモニー (写真②)
	1	議会広報調査対策特別委員会取材
	6	県町村議会議議員研修会(オンライン研修)
	6	市町村総合事務組合議会定例会
	8、13	議会広報調査対策特別委員会取材
	11	阿蘇広域議会運営委員会
	20	議会広報調査対策特別委員会
	20	芦北町議会議員視察研修来庁 (写真③)
	21	阿蘇広域議会定例会
	21	県町村議会議長会理事・郡事務局長合同会議



写真①



写真②



写真③



町内各地域で行われている百歳体操



佐藤 毅
議員

シニア世代を含めた一体的生活支援体制整備の取り組みは

【議員】高齢者が増加する今後を見据えて、福祉の充実に向けて支援体制の整備・強化を行うべき。

【町長】各課で支援活動を展開している。体制整備には人材の確保育成が必要。関係機関が協議しながら、円滑な事業運営ができる体制を整えたい。

【議員】地域包括支援センターと社会福祉協議会を中心に一体的支援に取り組んでは。

【町長】子育て関係、生活困窮自立支援を含めた、総合的ワンストップ型『総合包括センター』の設立をめざす。人材確保は医療機関、小国町と連携することも考える。

【議員】今後、各課で施策立案や取組を行う際には、高齢者の生きがいや社会参加を考慮して、町民の福祉向上、健康寿命の延長に繋がるような活動として頂きたい。



今年度から始まったきよらの郷健康づくりポイント



井野 和哉
議員

今後いかに職員の確保・育成を行うか

【議員】ここ数年、新規職員採用試験において、専門職の応募がなく、採用が厳しい状況が続いているが。

【町長】一般事務においては、採用予定以上の応募があるが、保育士・保健師等の専門職は定員割れ

保育園の体制の見直しが必要では

【議員】町内に限らず、保育士不足は深刻な問題である。今の状況が続けば、保育園に子どもを預けられない事態も考えられるが。

【町長】現在、規定としての保育士数は満たしているが、スムーズな保育を行っていくうえでは、難しい状況であると考えている。担当課も教育機関を訪問し、採用試験の案内を行っているが応募がな

の状況である。職員定員管理計画を策定し、計画に沿って積極的な採用活動を行っていく。

【議員】採用後の職員の育成についても、例年のようにはいかず、町民との接点も少なく、町外出身者が多い現状では、業務に支障があるのでは。

【町長】今年度は、入庁3年目までの職員を対象に、5回にわたり町内を巡り、人・産業・文化に行政がどう関わり、町民の思いをどう町政に反映させていくか、研修を行っている。

い状況である。

【議員】町独自で、保育士養成プログラムを作成してはどうか。町内で保育士に興味のある子どもに対して、独自の奨学金制度を設けて育成するのはどうか。

【町長】今後はそのような制度の導入も、協議の対象になると思う。

【福祉課長】採用要綱の見直しも視野に、受験しやすい環境を整えていく。



黒川保育園で行われた木工教室



穴井 千秋
議員

森林環境税・森林環境贈与税の活用策は

【議員】令和元年に創設された森林環境税、森林環境譲与税が、令和6年より国民一人当たり、年額千円が課税されるが、なかなか町民に浸透していないように思えるが。

【町長】過去2年間で、3千万円

令和2年度森林環境譲与税活用事業 (万円)

事業名	充当額
会計年度任用職員報酬	43
林地台帳データ更新業務	39
意向調査業務委託	383
木育事業業務委託	22
林地台帳利用料	50
作業路補修材料代	160
作業路補修材料代（災害補修分）	8
阿蘇地域林業担い手対策協議会負担金	93
阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会負担金	9
木育サポート事業補助金	10
森林環境譲与税基金積立金	1292

余りの税額が本町に入ってきており、使途については、町のホームページで公表している。

【議員】人材の育成、担い手の確保のためにも、地域おこし協力隊制度を活用してはどうか。

【農林課長】地域おこし協力隊は、別の交付金制度等があり、全く林業をやったことのない方を対象として、研修会や講習会を行っている自治体もあり、いろんな手段を用いて、人材の確保、担い手づくりに活用していきたい。



詳しくはこちら
南小国町 HP へ



役場敷地内に設置している太陽光パネル



穴井 則之
議員

町の再生可能エネルギーは

【議員】どのように小水力発電を推進していくのか。

【町長】太陽光発電設備設置補助事業を実施中。10月より、小水力発電設備設置補助事業を実施予定。実証事業により得たデータを基に導入可能性を検証していく。



平成28年に立岩地区で行われた実証実験

【議員】売電を目的とした大規模なものより、農業用水路を利用した防犯灯の発電といった身近なところから取り組み、町民の意識を高めることも大事では。

【まちづくり課長】実証事業は必要。小規模でも発電が可能であれば、そこも模索していきたい。

【議員】メガソーラー発電開発について町の捉え方は。

【町長】各地で設置が進んでいるが、問題も発生している。阿蘇地域は取決めに協議中。景観の維持のため、条例整備も必要。



高所作業車を使った特殊伐採
※写真：阿蘇森林組合提供

【議員】自然災害が多い近年、住宅等への被害を食い止めるため、伐採依頼が多くなる事が予想されるが、補正予算を組む考えがあるか。

【町長】ご指摘の通り、最近多くの自然災害が多発しており、令和3年度当初予算において、支障木伐採事業補助金制度を創設した。特殊伐採で森林組合に委託した場合、上限10万円で2分の1を補助としている。

危険木・支障木について今後の町の対応は



矢津田 道夫
議員



道路上に張り出している支障木

【議員】上限10万円では、クレーン車や大型作業車などを使えば、経費が高むが、どう思うか。

【農林課長】ご指摘の通り、特殊伐採は費用が高むと聞いている。要綱の改正が必要になれば、森林環境譲与税等を財源とし、是正をしていく。

【議員】道路沿線には、枝が道路に覆いかぶさっていたり、枯れた状態の木があったりするが、そういった道路支障木の点検はやっているか。

【建設課長】パトロールは行っており、道路管理者として危険が迫っていると判断すれば、緊急的に対応する場合もあるが、原則は所有者や管理者の方で対応いただきたい。



森永 一美
議員

子ども達の居場所づくりを

【議員】核家族化、共働き世帯の増加など家族の形が変わってきており、子ども達の居場所について切なる声があがっている。

①10ヶ月未満児
ファミリーサポートも稼働できておらず、町内には10ヶ月未満児を一時的に預けられる場所が

町図書室の利用促進を

【議員】町図書室は利用者数が限定されておりもったいない。町民から「雰囲気的に入りにくい」「利用法やどんな本があるか分からない」等の声がある。次の3点を提案する。

①ケーブルテレビで図書室の雰囲気や利用法を伝える
②直近の蔵書だけでも一覧で分かるようにし、町ホームページに

実質ない。町として今後どうするか。

②小学生の放課後
町として複合的に考え、今ある場所を活用し子ども達の居場所をつくれないうか。

【町長】①関係機関等と連携して考えていく。②地域住民の協力のもと、放課後子どもクラブやわくわくクラブ等、可能な限り児童の居場所づくりに努めている。今後関係団体と連携し取り組む。
【教育委員会事務局長】②放課後の要望が多いのは把握している。町として全体的な取り組みが必要。前向きに考えていく。

掲載

③男女共用トイレと洗面所の改修
【教育委員会事務局長】①入りやすい環境づくりを考えたい。簡単に本を借りられることをアピールしたい。②③協議する。

【教育長】読書啓発は図書室に人がいるのが一番の決め手。学校に司書を置いてから子ども達もかなりの読書量になり、学力にも結びついている。更なる読書喚起に取り組む。

町民
インタビュー
No.7

保育園の先生特集

現在、0歳から6歳までの計130名が町内保育園に在園しています（市原71名、黒川35名、中原24名）。町の宝である子ども達に愛情をたっぷり注いで保育されている先生方にお話を伺いました。

取材：井野和哉、森永一美 文・写真：森永一美

市原保育園

鞭馬美咲 先生



熊本市生まれ、杉田在住。南小国ですっと保育士をしたいと昨年度、採用試験にチャレンジし合格・本採用。発表会の合奏では変奏曲まで披露したほどの音楽愛好家。

…南小国の保育園を選んだ理由や経緯を教えてください

以前は熊本市内の幼稚園で働いていました。結婚を機に南小国へ越す際に転職も考えたのですが、南小国で保育士として働いたことのある夫の勧めで保育園を選びました。

…南小国の保育園はどうか

少人数なので子ども達と向き合っ、やりたい保育ができています。先生方も優しいですし、任せてもらえるので、やりがいがあります。

食育が充実していると感じます。味噌作りも大豆の苗植えからしていたり、園庭で育てた野菜がその日の給食に出たり…感動というか驚きました。南小国で働いて、保育士の仕事が好きだと再認識できました。



中原保育園

玉目健悟 先生



山都町生まれ、上町在住。奥様と1歳の娘さんとの3人暮らし。保育の得意分野は踊り。運動会では競技をアレンジし、会場を爆笑の渦に巻き込んだほどのアイデアマン。

…南小国の保育園を選んだ理由や経緯を教えてください

母が給食の先生をしている保育園に学生の頃から行っていました。その園におられた男性保育士の仕事ぶりを見て感銘を受け、保育士になりました。

就職活動では自然の中でのびのびと保育ができそうな園を探していて、就職サイトで南小国の募集を知りました。南小国に知人も親戚もいませんでしたが、受験の際に宿泊し、地域の方々が優しくて温かかったので就職を決めました。

…南小国の保育園はどうか

子ども達が素直で優しく、心にゆとりがあるなあと感じます。子ども達の成長に携われることは保育士の仕事ならではの喜びだと思います。



黒川保育園

椎名さゆり 先生



黒川生まれ、黒川在住。高校2年生から小学2年生までの4人の子どもの育てながら働く保育士。今年度から黒川保育園の主任として園全体の運営を任される。

…南小国の保育園を選んだ理由や経緯を教えてください

子どもの頃から保育士になるのが夢でした。実習で訪れた黒川保育園がとても面白かったのと、その年にちょうど採用試験があったので応募しました。ちなみに、当時実習でお世話になった先生方も今一緒に働いています。

…今後やりたい事は何ですか

絵本を作りたいです。

南小国では子ども達を褒めるだけでなく時には叱ります。町の宝である子ども達はとても可愛くて大事です。だから子ども達が大人になった時に困って欲しくないと思っています。町や保育園の想いや考えを絵本にし、町内で子育てをする保護者さんに伝え、同じ想いで子育て・保育ができたらと思っています。



編集後記

黄金色の稲穂が、爽やかな秋風に包まれる様を観ながら、この美しい里山がこの町の宝に見えてくる今日、この光景を守り続ける人々に感謝を申し上げます。

令和3年9月定例会は、一般質問が6議員8件、議案書21件、陳情4件、報告1件が審議されました。

9月定例会では特に、令和2年度の会計決算・基金状況審査、令和2年度財政援助団体審査・会計財政健全化審査のチェック・反省を促す意味で、重要審議とされましたが、短時間で審議され、町民代表の議員として、猛省すると共に深くお詫びを申し上げます。今後は油断なく、真摯に取り組む事を町民の皆さまにお誓いします。

コロナ感染第5波は猛威を振い、我々国民に不安と恐怖を与えました。10月に入り、ワクチン接種や一人一人の感染対応の効果なのか、今は下火になっています。今後も十分な感染対策を怠らずに、早い終息を願う皆様のご健勝をお祈りします。

（井上 則臣）

発行責任者

議長

平野 昭夫

広報調査対策特別委員会

委員長

森永 一美

副委員長

井上 則臣

委員

井野 和哉

委員

佐藤 毅